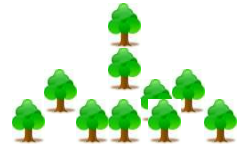


審査能力・セルフアセスメント実践能力強化のために

アセスメント実践トレーニングコース

このような方にお勧め

- ☑これまでの審査・アセスメントスキルをレベルアップしたい。
- ☑アセスメントスキルを実在企業・経営者を対象に実践的経験を積みたい。
- ☑実在企業経営者を対象とした質疑応答やフィードバック経験を積みたい。
- ☑組織全体に対するフィードバック（アセスメント総括）作成の経験を積みたい。
- ☑日本経営品質賞審査員に初めて応募する。



☞ご受講後、日本経営品質賞審査員にご応募頂いた場合、原則として賞審査をご担当いただきます。
 ☞本コースは、アセスメント実践能力を磨き、日本経営品質賞審査リーダーを経て、講師・指導者をめざされる方のための登竜門となるコースです。

アセスメント実践トレーニングコースとは

アセスメントの実践能力を高めることを目的としたコースで、日本経営品質賞審査員新規応募をお考えの方にも、事前受講をお勧めいたします。

研修は、2019年度日本経営品質賞アセスメント基準に準拠して進めます。

事前課題では、実在する事例企業の組織プロフィールを読み込みます。

4日間（2日間連続、3～4週間の自主学習期間、2日間連続）の研修を通して、事例企業の経営幹部にご参加頂き、カテゴリー情報のプレゼンテーション、質疑応答、チームアセスメント結果発表の傍聴、意見交換などにご参画頂きます。また、組織全体に対するフィードバック（アセスメント総括）を作成し、経営者視点からコメントを頂く場も設定いたします。

事例企業

倉庫・文書管理（会場：東京都中央区日本橋）

最寄り駅 JR：東京駅、神田駅、新日本橋駅 地下鉄：三越前駅、大手町駅

1日目 4月25日（木）10:00～18:30

2日目 4月26日（金）9:30～17:30

3日目 5月16日（木）10:00～18:30

4日目 5月17日（金）9:30～17:30

※学習の進捗により時間帯が変更する場合がございますのでご了承ください。

※宿泊ご希望の場合、各自でご手配下さい（費用は個人負担）。

※会場は最寄り駅よりいずれも徒歩圏内（5～7分前後）です。

- 対象 ①日本経営品質賞審査員 新規応募希望者
- ②同 応募経験者・審査経験者（リーダー、メンバー、インターン）
- ③実践的アセスメント能力の向上をめざす認定セルフアセッサー

■定員 12名 最少催行人数 4名

■費用 経営品質協議会会員 80,000円（税別）

非会員 96,000円（税別）

※費用に食費・旅費は含まれません。

■申込 申込WEBよりお申し込みください。 <http://www.jqac.com/>

※お申込受付は定員に達し次第締め切ります。部分のご受講はできません。

※事前課題をお送りしますので、開催1か月前以降の日程変更はできません。

※お申込みにあたっては、機密原則遵守誓約書に御署名頂きます。

※キャンセル料開催1か月前から4営業日前まで＝研修費用の30％/前日まで＝50％/当日＝全額

共催

日本経営品質賞委員会 経営品質協議会

お問い合わせ

経営品質協議会事務局 <http://www.jqac.com/>

〒102-8364 東京都千代田区平河町2-13-12 （公財）日本生産性本部内

TEL: 03-3511-4017 FAX: 03-3511-4059

<カリキュラム概要>

【事前課題】 事例企業の組織プロフィールを読み、戦略分析・審査計画と質問項目を検討する。

【1日目】		【2日目】	
10:00	オリエンテーション 「組織プロフィール」 ■質問項目合議 ■質疑（事例企業代表者が回答） ■戦略分析のチーム合議 ■戦略分析の結果発表・意見交換（事例企業幹部も出席） 「顧客・市場の理解」 ■情報収集（事例企業幹部によるプレゼンテーション） ■評価の視点・質問項目の合議 ■質疑（事例企業幹部が回答）	9:30	「顧客・市場の理解」（続き） ■アセスメント合議 ■アセスメント結果の発表・意見交換（事例企業幹部も出席） 「価値創造プロセス」 ■情報収集（事例企業幹部によるプレゼンテーション） ■評価の視点・質問項目の合議 ■質疑（事例企業幹部が応答） ■アセスメント合議
18:30	終了	17:30	終了
【3日目】		【4日目】	
10:00	「価値創造プロセス」（続き） アセスメント結果の発表・意見交換（事例企業幹部も出席） 「組織能力」 ■情報収集（事例企業幹部によるプレゼンテーション） ■評価の視点・質問項目の合議 ■質疑（事例企業幹部が回答） ■アセスメント合議 ■アセスメント結果の発表・意見交換（事例企業幹部も出席）	9:30	「リーダーシップ」「事業成果」 ■情報収集（事例企業幹部によるプレゼンテーション） ■評価の視点・質問項目の合議 ■質疑（事例企業幹部が回答） ■アセスメント合議 アセスメント総括 ■アセスメント合議 ■アセスメント総括発表・意見交換（事例企業幹部も出席）
18:30	終了	17:30	終了

【成果物】 「戦略分析」「アセスメント総括」
 カテゴリー別アセスメント「顧客・市場の理解」「価値創造プロセス」「組織能力」「リーダーシップ」

【受入組織経営者の声】

「受賞のためにやっているのではなく、ワクワクするためにやっている。どうしたらAA-になれるのか。地域賞申請の際には、それがもやもやしていたが、今回指摘された強みが、そのヒントになると感じた。」
 「今やっていることの中には、社員が話し合って明確に意味づけしていないものもある。皆さんの討議を聞いて、よい刺激になった。」

【参加者の声】

◆審査の相手先が眼前にいてそこで色々な質問等、実際にやりとりできると様々な気づきがあります。実際の審査では口にしづらいと思われるポイントもやり取りできました。また、審査のポイントの一つである、「申請組織が考えている戦略を要約するのではなく、組織プロフィールを熟読・分析して、成功のストーリーを描く」の意味が、良く分かりました。
 ◆今回は、口頭での説明に対しての総括だったので、緻密に書くというより、独自の考え方で明文化されていない、リーダーシップとフレキシビリティに焦点をあて、かつ、社員に必要な能力（技術+これらの考え方）を全面に押し出して作成しました。また、幹部と直接お会いすることによって、文章にしにくいことを聞き出すことができました。質疑や意見交換を重ねると、受入組織幹部も気づいていない組織で重視している考え方にたどり着くことができたのは対話形式のアセスメントならではの考えです。
 ◆受入組織の皆様ののおかげで、今年初の審査を経験していますが、なんとかやっていけそうな手ごたえを感じています。このような機会をいただいたことに感謝いたします。

【受入企業のご案内】

外部アセッサー視点からアセスメントを体験頂ける本コースは、このような企業の方に受け入れ側としてご参画頂けます。

- ☑アセッサーを育成したが、セルフアセスメントをこれから導入する。
- ☑これまで申請経験があり報告書を記述したことはあるが、再度挑戦したい。
- ☑組織プロフィールを作成したが、カテゴリー記述はこれから行う。
- ☑組織の現状を外部の視点から客観的に評価してフィードバックしてほしい。
- ☑経営者視点を持った次世代幹部を育成したい。

条件 ①アセスメント基準書に基づき「組織プロフィール」を記述完成されていること
 ②研修4日間（時間詳細はカリキュラムをご参照ください）に経営幹部にお時間をおとり頂けること
 ③研修期間中に会議室をご提供いただけること

費用 無料

詳細につきましては経営品質協議会事務局までご相談ください。